

トルクメン通信 第5号

2016年5月20日作成

こんにちは。トルクメン通信第5号です。気づけば、前回のトルクメン通信から約4か月…。大分日が経ってしまいましたが、この間は業務に追われておりました。以前もちょこっとこちらにも書かせていただきましたが、現在、トルクメニスタンの日本語教育の状況が大きく動いています。①中等教育での日本語教育開始、②アザディ大学以外の5つの大学で日本語教育開始、の2点はお伝えした通りですが、それに加え、③日本語を小学校1年生から「第一外国語」として教える学校の設立、④日本式のカリキュラムを導入し日本の科学技術を教える「トルクメニスタン工科大学」の設立、の2点が教育省から通達されました。中等教育段階のカリキュラム整備／教科書作成に加えて、③の小学校のカリキュラム整備／教科書作成も日本語学科の先生で行うことになり、日本語学科はてんやわんやです。中等教育段階の教科書はほぼ完成したので、次はワークブックと③に学校で使う教科書の作成です…。この4か月の間は、これら教材作成の他にも、詳しくは言えないのですが、とりあえず忙しい日々を送っておりました。

今回のトルクメン通信では、前号冒頭で触れた、大学で行われた日本文化関連のイベントについてご紹介したいと思います。

● 料理大会

毎年11月ごろに開催されるイベントです。1年生が日本料理を用意し、トルクメニスタンのテレビで披露します。他学科の学生も同様に、勉強している言語の国の料理を紹介します。中には、レストランに注文して料理を調達してしまう学科も(!)。ただ、トルクメニスタン国内に日本料理のお店は数件しかなく、しかもかなり値段が高いので、例年日本料理を作っているそうです。ただ、日本語を勉強してまだ数か月しかたっていない1年生が



日本料理を作れるわけがなく……。ということで、私の部屋にあった日本料理の食材やトルクメニスタンで調達できる食材を駆使して私が作ることに。せっかくなので、日本語学科の1年生と一緒に料理を作ることにしました。メニューは、巻き寿司・親子丼・肉じゃが・漬物・マカロニサラダ(マカロニサラダは日本料理なのか?という疑問は置いて笑)。この当時の1年生はまだ日本語で十分にやり取りできるレベルにはなかったのですが、料理をしながら日本語を使っていたのでやり取りには特に問題はあ



りませんでした。「のり」や「しょうゆ」「粉末だし」などの初めて見る日本の食材や調味料の一つ一つに驚き、写真をとり、味見をし、巻き寿司に使う卵焼きの卵を巻くだけで「え?先生、なにをしましたか?」「先生、先生、私します!」と大騒ぎになり、巻き寿司を巻く時には、誰が最初に作るか言い合いになり、巻くところを動画に撮り、上手く巻けたらまるで宝くじで高額当選で

もしたんじゃないかと思うくらい大喜びし、それでまた写真撮影…。「あの一、すみません、料理早く作らないといけないんですけど…」と言いたい気持ちを何度も押さえ、そして果たして時間に間に合うのかと冷や汗をかきながら僕は料理を作っていました(笑)。でも、学生の一つ一つの反応がとても面白く、微笑ましくもありました。料理大会が終わったあとも、時間が合うときは家でみんなと一緒に日本料理を作っています。

● 日本文化の日

「日本文化の日」は、毎年11月か12月に開催されるイベントです。劇や日本クイズなどを通して、日本語学科の学生が他学科の学生に日本文化を紹介します。「日本文化の日」には、トルクメニスタンの在留邦人のみなさまもお客様としていらっしゃるの、学生たちの日頃の学習成果を披露する意味合いもあります。今年は、1年生が「おむすびころりん」の劇とトルクメニスタンを代表する詩人「マフトム・グリ」の詩の朗読、アニメ「スラムダンク」のトルクメン語吹き替えをしながらその内容を紹介、2年生が日本クイズと折り紙の紹介を行いました。例年は歌やダンスなどもあり、にぎやかなプログラムになるのですが、今年は歌とダンスは禁止という「学長命令」と、発表内容の事前の「検閲」があったため、例年に比べやや落ち着いたプログラム構成になりました。ですが、当日は満員御礼(テレビクルーが来るので、大学側が学生を駆り出している部分が多いのですが…)で、他学科の学生にも、在留邦人の皆様にも楽しんでいただけたので、大成功でした！本番に向けて一生懸命練習していた学生もホッとしたようです。(ちなみに、今年は「日本文化の日」と同じ日に、日本のお正月料理を紹介するイベントもあり、そちらの準備と「日本文化の日」本番の準備と並行して進めなければならなかったのが本当に多忙でした。そのせいか、僕は次の日は風邪でダウン…。1週間くらい静養することになりました。)



● スピーチ大会

スピーチ大会は例年3月に開かれます。スピーチ大会の他に1、2年生を対象とした作文コンクールも同時に開催されます。今年は12人の学生がスピーチ大会に出場しました。学生にとってスピーチを書くのは結構重労働。その上、「このスピーチで言いたいことは何なの?」「『〇〇が好きです』って言われても、聞いている人は何も思わないよ!」「これって当たり前のことじゃない?* *さんにしか書けないことを書いて!」などと、上原先生からいろいろ指摘されるので、学生はヒーヒー言いながらスピーチを書いていた(いや、こっちだって、みんなの言いたいことを大切にしつつ、引き出しつつ、自分の意見を押し付けないようにしながらコメントしなきゃいけないんだから、結構大変なんだよ!)。と、こんなやり取りを辛抱強く重ねたおかげか、学生の個性が出た面白いスピーチができました。やりとりをしながら僕も「なるほど」と納得させられることもあり、学生の思考の深さに驚かされました。当日は、在

留邦人の皆様が10名以上いらっしゃり、今まで以上の盛会となりました。学生にとってこんなに多くの日本人を見たのは初めてだったようで、見ているこちらまで緊張してしまいました。中には緊張でスピーチが飛んでしまう学生もいましたが、一生懸命練習した成果を披露でき、終わった時はほっとした表情と同時にやり切った表情を見せていました。在留邦人の皆様からもスピーチに対する高い評価を頂くことができ、こちらも大成功となりました。スピーチ大会の結果ですが、1位は「本当の私は誰？」というタイトルで発表した4年生のシリンさん、2位は「兆候は悪いものでしょうか」というタイトルで発表した4年生のグルジャハンさん、3位は「ほほえみ」というタイトルで発表した2年生のアイヌルさんでした。1位と2位の二人は4月30日にカザフスタンで行われた中央アジア弁論大会に出場しました。そこでは惜しくも入賞は逃しましたが、出場した学生にとってはよい経験になったようです。



● その他イベント

今年度は安倍首相の来訪もあり、例年以上に多くのイベントがありました。上記以外では、

10月23日 安倍首相夫人来訪／アザディ大学の学生と懇談

12月中旬 「MIRAIプログラム」により本学学生4名が日本へ派遣

12月13日 世耕副官房長官来訪

2月23日／24日 山田みどり先生来訪、生け花・墨絵体験（こちらも毎年恒例のイベントです）

3月4日 東京大学の学生と交流

5月11日～25日 「中央アジア日本語学習者訪日研修プログラム」により本学学生10名が日本へ派遣

・・・とまあこんな感じです。事情でここには書けないものもあり、特に2月～4月は休む暇がありませんでした。ただ、イベントの峠は越えたので、今はほっとしています（笑）。



前回の発行から大分時間が開いてしまいました。と、ここで重大なお知らせが。なんと、8月で大学との契約が満了し、帰国することとなりそうです。つまり、トルクメニスタンでの生活も残り3か月……。予定ではもう一年働くつもりで、そのことを大学側にも伝えていたのですが、突然契約打ち切りの話が……。まあ、こういう国なので仕方がないかなーと思っています。残り少ない期間ですが、トルクメニスタンでの生活を知っていただくためにも、これからは頑張ってトルクメン通信を書いていこうと思います。では、次回もお楽しみに！

アザディ名称世界言語大学 上原龍彦

(ご質問・ご感想などは azadyuehara★gmail.com へ。★を@に変えてください)



アシガバット市内に広がる砂漠



トルクメニスタンの桜??